

2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 暮らしのコツ研究所
活動テーマ	障害福祉・精神科医療等の支援関係を対象としたトラウマについての研修

 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">講座の様子</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">映画上映会</p>
 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">映画上映会後のトークイベント</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">講座チラシ</p>

主催団体の代表自身十数年にわたり、障害福祉の精神分野にて支援を実践後、DV等による被害者支援に従事したことから「トラウマ」の視点を持つことは当事者の安心安全感につながり、当事者理解に役立つと確信した。その経験から障害福祉や精神科医療関係者等に「トラウマ」をテーマにした研修を提供することは、トラウマの理解を広め、トラウマという共通言語を持てる機会となるとともに、より当事者に寄り添ったサポートにつながり、二次被害を防ぐ機会となると考え、公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団から助成を受け3年連続で実施した。

講師は、米国からの最新情報を取り入れながらトラウマについての研修を全国的に展開されている NPO 法人レジリエンスに依頼し、7月～12月、月1回土曜日に4時間の研修を会場参加やオンライン参加、アーカイブ視聴とハイブリッド形式で実施し、「トラウマによる影響、アタッチメントとトラウマ、解離・解離性同一性障害 (DID)、トラウマインフォームドケアの実践に向けて」を学び合った。

臨床心理士、公認心理士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、教員等、様々な職種の支援者の参加があり、多様な支援の現場でトラウマの視点が入り入れられることが期待できる。

講師が監修した DID への理解が深まる短編映画『Team その子』の上映会は、研修受講生以外にも窓口を広げ開催し、広く DID の理解をひろめる機会となった。

また、支援者自身のセルフケアや組織における支援者ケアの重要性も学び、支援疲れを防止する一助となった。